

# スポーツとーく滋賀 181 号

発行：新日本スポーツ連盟滋賀県連盟

発行日：2022. 11. 30 / 通巻 181 号 発行責任者：渋谷敏久 / 編集担当：佐々木鉄人  
〒520-0851 滋賀県大津市浜大津 4 丁目 1-1 明日都浜大津 1F

大津市市民活動センター内 15 / TEL・FAX 077521-3946 /

Email [njsf\\_shiga8265@nifty.com](mailto:njsf_shiga8265@nifty.com) / URL [http://homepage2.nifty.com/njsf\\_shiga/](http://homepage2.nifty.com/njsf_shiga/)

## 滋賀反核平和マラソン・サイクリング 2022 報告

主 催：2022 滋賀反核平和マラソン・ライダー・ウォーキング・サイクリング実行委員会  
(新日本スポーツ連盟滋賀県連盟、滋賀県労連、滋賀自治労連、他)

開催日：2022 年 10 月 21 日(金)

「平和憲法を守り、核兵器も戦争もない社会の実現をめざして」

従来は、8 月 6 日又は 9 日の原爆の日に合わせて実施してきた、「滋賀反核平和マラソン・ウォーキング・サイクリング」ですが、ここ 2 年はコロナの影響で中止。3 年振りの今年は日程をずらし、去る 10 月 21 日の「国際反戦デー」に合わせて、「滋賀反核平和マラソン・サイクリング」として実施されました。コースは JR 草津駅から滋賀県庁までの約 13km。参加者はランナー 7 名とロードバイク 3 車、サポートカー 2 台。9:30 に JR 草津駅西口をスタート。途中、草津市内の大型商業施設前を通り、琵琶湖に掛かる近江大橋を渡り、11:30 に県庁に到着。県庁では到着セレモニーで、三日月知事宛の要請書を読み上げて渡しました。セレモニーのあと地元の新聞社からの取材も受けました。

爽やかな秋晴れの下、ランナーは一列になり、その後ろに自転車が付く配列で、途中休憩を取りながら、戦争反対、核兵器廃絶をアピールしました。(渋谷)

過去の反核マラソンでは最高に暑い中を長浜から県庁まで(途中車で移動する区間も大分あります)、お寺 1ヶ所と幾つかの市役所で到着セレモニーを受けていましたので、ずいぶんコンパクトな形式ではありましたが、主旨は果たせたと思っています。(高畑)



# ランニング 第 60 回滋賀県スポーツ祭典陸上競技大会報告

開催日：2022 年 10 月 2 日(日)

場 所： 皇子山総合運動公園陸上競技場

去る 10 月 2 日 第 60 回滋賀県スポーツ祭典陸上競技大会が開催されました。これまで、会場の都合や、台風の影響、コロナの影響で中止が続き、5 年ぶりによりやく開催することが出来ました。当日は夏のような青空が広がり、少し暑くなりましたが、絶好のスポーツ日和となりました、参加者は延べ 206 人でした。参加者の特徴としては、小学生男女の参加者が多く（延べ 80 人）、ほとんどの選手が 100m と 1000m の 2 種目に出場されました。逆に中学生や大学同好会の参加が少なく、また一般の女子選手の参加が少なかったのが、少し寂しく感じました。

役員体制は 36 名で、滋賀陸協の審判員、びわこランナーズや滋賀県連盟の他の種目の方々の協力を頂き、運営に当たりました。

大会恒例の、最優秀選手賞は、一般男子 800m で、大会新記録で優勝し、1500m も制した柿原直季さん（大阪市から参加）が獲得。賞状と盾が授与されました。

本大会は 11 月 19 日に東京国立競技場で開催される、第 34 回全国スポーツ祭典陸上競技大会の予選会を兼ねて開催され、この大会を経て、3 グループと個人、合わせて 19 名の方が全国祭典に出場予定です。（渋谷）

選手兼役員で参加させていただきました。役員としては受付業務を野村さん、平野さんとやらせて頂きました。参加者の方からいろいろな質問を受けるので、判りそうな方に取り次いだりしておりました。選手は 5,000m を走らせて頂き、抜いたり、抜かれたりのスリルを楽しみました。（高畑）



第 60 回滋賀県スポーツ祭典陸上競技大会 優勝者記録

		2022/10/2			
競技種目	種目	選手名	所属	記録	備考
一般男子	100m	栗本 由紀	赤免馬 A C	11秒02	
一般男子	200m	廣谷 帝紀	W.A.S	22秒34	
一般男子	400m	安井 潤	びわこランナーズ	58秒38	
一般男子	800m	柿原 直季	兵庫医科大学	02分00秒17	
一般男子	1500m	柿原 直季	兵庫医科大学	04分07秒64	大会新
一般男子	5000m	織田 将也	masa	16分33秒52	
壮年男子	100m	丸尾 章弘	赤免馬 A C	11秒65	
壮年男子	200m	寺下 健治	Soleil A C	23秒92	
壮年男子	1500m	都築 陽一	KMEW	05分02秒67	
壮年男子	5000m	市田 明弘	サウルス京都	17分56秒73	
中学男子	100m	猪飼 暉光	明富中学校	12秒45	
中学男子	1500m	徳地 咲也	nao running	05分25秒14	
小学男子	100m	葛田 尋哉	本能陸上クラブ	13秒30	大会新
小学男子	1000m	葛田 尋哉	本能陸上クラブ	03分01秒18	大会新
一般女子	100m	佐々木 友美	nao running	13秒21	
一般女子	200m	細川 薫	Swift Runner	32秒08	
一般女子	800m	岡 佳保里	ブルーミング	02分48秒04	
一般女子	1500m	清田 菜未	Swift runner	05分34秒08	
一般女子	5000m	岡 佳保里	ブルーミング	21分37秒82	
中学女子	100m	植田 詠簾	チームUEDA	13秒84	
小学女子	100m	山田 結々	高島小学校	14秒56	
小学女子	1000m	岸本 美紀	本能陸上	03分14秒36	
最優秀選手		柿原 直季			



## バドミントン 第 60 回滋賀県スポーツ祭典バドミントン大会報告

バドミントンは 10 月 23 日ウカルちゃんアリーナ本館にて第 60 回スポーツ祭典（全国予選）を実施しました。

コロナ禍の影響もあり今回 3 年ぶりの開催となりました。その影響もあってか参加者は 34 組 68 名と最盛期の 60%ほどに留まり少し寂しい結果となりました。他団体の大会も似たような傾向にあり、コロナの影響を感じた次第です。

試合については各種目とも白熱した展開あり、楽しくも真剣なプレーが行われ、種目優勝者の中から 2 組が滋賀県代表として 11/5・6 静岡県で行われた全国大会に参加をいただきました。

今回の大会の中で印象に残ったのはアットホームな雰囲気大会運営が出来たことです。参加された選手の方々は朝一番から自主的にコート設営の手伝いをされたり、急なドロワー変更や代役を頼んでも対戦相手含め皆さんが嫌な顔をせず快く了承してもらするなど大会本部と選手の距離が近く一緒に大会を作れたと実感しています。来年度はもう少し参加者が増えるよう努力し、また楽しい大会が行えるようにしたいです。

### 【結果：各クラスの 1 位・2 位】

1 部男子ダブルス	1 位 玉澤・星野 (RBA)	2 位 河野・井関 (RBA)
1 部女子ダブルス	1 位 森田・橋本 (どらへイル)	2 位 清水・松下 (日吉台 BC)
1 部混合ダブルス	1 位 富森・岡本 (WANYS)	2 位 富高・仙石 (WANYS)
2 部男子ダブルス	1 位 井上・湊 (ラビッツ)	2 位 三坂・玉川 (Nova)
2 部混合ダブルス	1 位 畑・畑 (一般)	2 位 濱嶋・栗原 (ラビッツ)
3 部ダブルス	1 位 岡村・古野 (ラビッツ)	2 位 吉江・後藤 (H-backs)
シニアダブルス	1 位 金子・杉山 (ラブオール)	2 位 田辺・甘利 (ラブオール)

### 【1 部男子ダブルス&女子ダブルスの対戦結果】

#### 1 部 男子 ダブルス

	玉澤 慎太郎 星野 舜 (RBA)	橋村 幸雄 山田 康平 (WANYS)	河野 凌太 井関 公心 (RBA)	勝敗・順位	
★ 玉澤 慎太郎 星野 舜 (RBA)		2-0	2-1	2-0	1
★ 橋村 幸雄 山田 康平 (WANYS)	0-2		0-2	0-2	3
河野 凌太 井関 公心 (RBA)	1-2	2-0		1-1	2

#### 1 部 女子 ダブルス

	森田 沙那果 橋本 有衣 (どらへイル)	清水 麻衣子 松下 淳子 (日吉台 BC)	市村 理紗 大橋 かおり (ラブオール)	勝敗。順位	
★ 森田 沙那果 橋本 有衣 (どらへイル)		2-0	2-0	2-0	1
清水 麻衣子 松下 淳子 (日吉台 BC)	0-2		2-0	1-1	2
★ 市村 理紗 大橋 かおり (ラブオール)	0-2	0-2		0-2	3

# ウォーキング

## 堅田・春日山公園

ゆったりコース

2022年9月25日(日) 快晴

〈参加者〉長友 川辺 高木 星操 星利 大工 永見 西原 小嶋 伊藤  
橋田 松尾 林田 船橋 大西 松下 16名

好天にめぐまれ、絶好のウォーキング日和となりました。小生、JR 大津京駅から堅田駅に向かうはずが、京都行きに乗ってしまった。堅田駅に着いたら、すでに皆さん体操中でした。どうもすみませんでした。年にとってボケてしまったのでしょうか。

気を取り直して春日山公園へ10~15分程で到着し、古墳ゾーンへ向かいました。古墳ゾーンと言っても、どれが古墳なのかよくわからないので、標識でも立ててほしいなと思います。



万葉ゾーンへ向かう道中は、山の中で、アップダウンの山道でしたが、よく整備されていて気持ちよく歩くことができました。山道を抜けると琵琶湖を展望できる所に到着。みんな我先にと駆け寄り、歓声をあげていました。やはり、琵琶湖は、私たちの心の故郷なんだなあ実感しました。

最終のシンボルゾーンは、道路の幅員も広く、よく整備されていて、気持ちよく歩



けました。途中小さな公園のような所で、子ども達が喜んで遊んでいる風景を見て、「ああ、俺もあんな頃があったんだなあ」となつかしい気持ちになりました。その後、昼食をとり帰途につきました。半日のコースでしたが、楽しく過ごすことができ、身も心も軽くなりました。(長友 善勝記)



- 〈答〉①えいざんすみれ ②ふじ ③かきつばた  
④ささゆり ⑤あおばな ⑥さくら